News of The Japanese Weekend School of New York

BIG APPLE

ニューヨーク補習授業校
56 Harrison St. Suite204
NewRochelle, NY 10801
Tel:(914)636-3770
Fax:(914)636-7476
平成27年　1月1日　No.18
発行責任者：校長　櫻井郁男

平成２７年、新春のお祝いを申し上げます。


早朝のロングアイランド

冬至が過ぎると日毎に日が伸びて春の胎動を感じます。ニューヨーク補習授業校は、1月3日より授業が始まります。また、来年度計画も煮詰まりつつあります。

本校は文部科学省からの派遣教員が在職する補習校として「いつ国内の学校に編入しても戸惑わない教育を」との方針を踏まえ、50年余の歴史を刻んでまいりました。派遣教員は日本の教育事情を伝達しつつ、補習授業校の教育内容の精査や教員の資質向上に努めております。

そこで学習指導の充実を図るために平成25・26年と2年間かけ「通知表の改訂」を行いました。

学習評価は学習指導と一体と言われます。教師は改定の意義を理解し、日々「よい授業」を心掛けております。

さて、学習指導要領に触れましたが、中央教育審議会は2020年度の新学習指導要領本格実施を目指し、その改訂に着手しました。文部科学大臣は諮問にあたり、「キー・コンピテンシー」「国際バカロレア」「アクティブ・ラーニング」「インクルーシブ教育システム」等の文言に触れています。

読んでいる私は以下の文章に目を留めました。

・・・「何を教えるか」という知識の質や量の改善はもちろんのこと、「どのように学ぶか」という，学びの質や深まりを重視することが必要であり，課題の発見と解決に向けて主体的･協働的に学ぶ学習・・・後略

諮問は昨年の11月でしたが、本校の教員は前述のような教育の必要性を常々実感しつつ指導をしており、先日の研修会では中高等部の教師から「ルーブリックについて検討すべき」との発言すらありました。

このように本校は「いつ国内の学校に編入しても戸惑わない教育」とともに、米国のみならず、世界に羽ばたき活躍する日本人、そして親日家・知日家を育成する教育を推進してまいります。

どうぞ今後とも本校の教育活動に、ご理解・ご支援を下さいますようお願い申し上げます。


メトロポリタン美術館の羊